

学校名	研究課題	研究手法
額中学校	教科一般	学習評価の充実

1 研究の重点と具体的な取組

重点1 新学習指導要領について理解を深める

- ・新学習指導要領や解説などを教科や研修会などで読み合わせ、現行の指導要領と比較するなどし、令和2年度までの移行措置や令和3年度からの全面実施に合わせて教育計画の作成ができるよう教員の理解を更に深める。

重点2 額中版シラバス改定のための準備を行う

- ・各教科部会で評価方法などを授業のなかで実践・工夫し、額中版シラバスの各教科の評価の観点や内容、学習目標などを新学習指導要領の内容に合わせて教科部会や学校全体で見直しを行っていく準備を再度行う。また、生徒が授業内容について理解できているかを生徒アンケートやシラバスでの自己評価などで確認する。

重点3 家庭や地域との連携を図る

- ・授業を家庭や地域に公開したり、シラバスに保護者のコメントを記入してもらったりするなど本校の教育への理解や協力が得られるようにする。

2 取組の検証

重点1については、令和3年度からの新学習指導要領実施に向けて、教科部会で新学習指導要領や解説書、新旧対照表、中教研での資料などを再度読み合わせ、各教科で指導要領改訂による変更点、移行措置、指導のポイントなどを確認した。

重点2については、教員アンケート、生徒アンケートを参考に生徒が授業で到達してほしい姿について教科部会で話し合った。また、額中版シラバス改定のため、教科部会で読み合わせした資料を基に、シラバスのどの部分を訂正する必要があるのかを、評価観点・評価方法・学習内容・自己評価と現在の本校生徒の学ぶ姿などの面から確認し、訂正の必要のある点を現在のシラバス上に書き込む作業を行った。

重点3については、保護者アンケートや授業参観、三者面談などで教員と保護者とが連携を図れるよう配慮した。また、額中版シラバスに定期テスト計画表を差し込み、学習計画を見て保護者にコメントを記入してもらうことで、家庭学習の取り組みの様子を知らせることができた。

3 成果と課題

令和3年度の新学習指導要領実施に向け、各教科の新学習指導要領の変更点の確認を教員全体で行うことができた。今後は学習内容や評価方法などの変更点を踏まえ、シラバスの活用方法を教職員全体で確認し、生徒自身が自分を伸ばしていくことができる学習評価を考えていく必要がある。

